



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月15日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
コード番号 9979 URL <https://www.daisyo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日～2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	39,939	1.2	881	△16.7	906	△16.6	649	△41.7
2025年8月期第3四半期	39,452	4.5	1,057	16.7	1,086	△4.0	1,113	△2.7

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 641百万円(△42.1%) 2025年8月期第3四半期 1,107百万円(13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	30.96	—
2025年8月期第3四半期	53.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期第3四半期	29,087	11,634	40.0	554.31
2025年8月期	29,523	11,286	38.2	537.83

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 11,632百万円 2025年8月期 11,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2026年8月期	—	6.00	—		
2026年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	53,700	2.2	1,270	6.2	1,220	2.0	920	△21.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期3Q	21,198,962株	2025年8月期	21,198,962株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	213,888株	2025年8月期	213,888株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年8月期3Q	20,985,074株	2025年8月期3Q	20,985,083株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、現在の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の継続等により、景気は緩やかな回復が続いております。一方で、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや、金融資本市場の変動などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、インバウンド消費の継続等により需要は堅調に推移しているものの、原材料価格や人件費、エネルギー価格などの運営コストの上昇に加え、物価上昇の継続と実質賃金の伸び悩みによる節約志向の高まりなどにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する」という基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、売上高と営業利益率の向上を目指し、企業価値向上を図るため、主要業態「庄や」のリニューアルや強化業態への業態変更を含む店舗改装の推進、デジタルマーケティングやウェブ予約獲得の拡充による集客力強化、卸売・ロジスティクス事業の外部販売先拡大、不動産事業及びF C・V C事業等の収益確保、D X(デジタル・トランスフォーメーション)取組み推進による生産性向上、労働環境の改善や研修の充実による人材確保・育成などの施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を5店舗、店舗改装を11店舗、店舗閉鎖を15店舗(うちV C(ボランティアチェーン)への移行を2店舗)で行った結果、当第3四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は295店舗(直営222店舗、F C28店舗、V C45店舗)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1.2%増加の39,939百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

飲食事業につきましては、既存店売上高は対前年比増加したものの、直営店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.1%減少の17,738百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総合物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.6%増加の20,058百万円となりました。

不動産事業につきましては、一部自社不動産物件の売却もあり、売上高は前年同期に比べ1.1%減少の1,210百万円となりました。

F C・V C事業につきましては、F C・V C店舗の減少や営業権利用料更新等により、売上高は前年同期に比べ9.1%減少の625百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ25.8%増加の306百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は881百万円(前年同期比16.7%減少)、経常利益は906百万円(前年同期比16.6%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は649百万円(前年同期比41.7%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は10,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ520百万円減少となりました。これは、現金及び預金が532百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は18,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円増加となりました。これは、差入保証金が186百万円減少したことに対し、建物及び構築物(純額)が172百万円、土地が162百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は10,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ364百万円減少となりました。これは、短期借入金が530百万円増加したことに対し、買掛金が442百万円、未払消費税等が253百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は7,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ418百万円減少となりました。これは、長期借入金が284百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ347百万円増加となりました。これは、配当金の支払い293百万円に対し、親会社株主に帰属する四半期純利益を649百万円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の通期連結業績予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,395	4,863
売掛金及び契約資産	4,132	4,211
商品及び製品	1,026	1,132
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	99	97
未収入金	186	42
その他	660	632
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	11,486	10,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,782	4,955
機械装置及び運搬具（純額）	512	536
工具、器具及び備品（純額）	287	333
土地	3,738	3,901
リース資産（純額）	134	81
建設仮勘定	9	45
有形固定資産合計	9,465	9,854
無形固定資産		
借地権	1,763	1,763
ソフトウェア	140	139
その他	119	119
無形固定資産合計	2,023	2,022
投資その他の資産		
投資有価証券	1,087	1,089
出資金	1	1
長期貸付金	324	304
差入保証金	2,974	2,788
敷金	1,511	1,372
繰延税金資産	530	570
その他	122	122
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	6,543	6,242
固定資産合計	18,033	18,119
繰延資産		
社債発行費	4	2
繰延資産合計	4	2
資産合計	29,523	29,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,506	2,063
短期借入金	2,200	2,730
1年内返済予定の長期借入金	2,283	2,261
1年内償還予定の社債	90	90
リース債務	115	90
未払金	1,823	1,947
未払法人税等	145	112
未払消費税等	386	133
賞与引当金	366	205
株主優待引当金	291	218
店舗閉鎖損失引当金	3	2
資産除去債務	28	2
その他	345	364
流動負債合計	10,584	10,220
固定負債		
社債	135	45
長期借入金	3,902	3,618
リース債務	87	28
退職給付に係る負債	1,550	1,560
役員退職慰労引当金	238	266
受入保証金	869	861
資産除去債務	775	758
繰延税金負債	91	91
その他	1	3
固定負債合計	7,651	7,233
負債合計	18,236	17,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	7,657	7,657
利益剰余金	3,749	4,105
自己株式	△250	△250
株主資本合計	11,257	11,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	19
その他の包括利益累計額合計	29	19
非支配株主持分	0	1
純資産合計	11,286	11,634
負債純資産合計	29,523	29,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	39,452	39,939
売上原価	24,120	24,766
売上総利益	15,331	15,172
販売費及び一般管理費	14,274	14,291
営業利益	1,057	881
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	3	5
貸倒引当金戻入額	4	1
受取損害賠償金	25	7
受取保険金	45	41
投資有価証券売却益	23	45
為替差益	3	9
その他	37	37
営業外収益合計	149	158
営業外費用		
支払利息	85	90
貸倒引当金繰入額	1	—
支払手数料	3	5
その他	30	37
営業外費用合計	120	133
経常利益	1,086	906
特別利益		
固定資産売却益	364	2
受取補償金	—	83
特別利益合計	364	86
特別損失		
固定資産売却損	0	15
固定資産除却損	129	118
減損損失	22	111
店舗関係整理損	2	16
店舗閉鎖損失引当金繰入額	0	1
特別損失合計	154	263
税金等調整前四半期純利益	1,296	729
法人税、住民税及び事業税	102	113
法人税等調整額	80	△35
法人税等合計	182	77
四半期純利益	1,113	651
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,113	649

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	1,113	651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△10
その他の包括利益合計	△5	△10
四半期包括利益	1,107	641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,107	639
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	F C ・ V C 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	17,938	19,358	—	—	37,296	243	37,540	—	37,540
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	688	688	—	688	—	688
顧客との契約から 生じる収益	17,938	19,358	—	688	37,984	243	38,228	—	38,228
その他の収益(注) 4	—	—	1,223	—	1,223	—	1,223	—	1,223
外部顧客への売上高	17,938	19,358	1,223	688	39,208	243	39,452	—	39,452
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	6,446	146	0	6,602	234	6,837	△6,837	—
計	17,947	25,805	1,370	688	45,811	477	46,289	△6,837	39,452
セグメント利益	1,083	745	334	269	2,433	6	2,439	△1,381	1,057

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益の調整額△1,381百万円には、セグメント間の取引消去394百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,776百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において22百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	FC・VC 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	17,738	20,058	—	—	37,796	306	38,103	—	38,103
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	625	625	—	625	—	625
顧客との契約から 生じる収益	17,738	20,058	—	625	38,422	306	38,729	—	38,729
その他の収益(注) 4	—	—	1,210	—	1,210	—	1,210	—	1,210
外部顧客への売上高	17,738	20,058	1,210	625	39,632	306	39,939	—	39,939
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	6,611	141	0	6,762	250	7,013	△7,013	—
計	17,747	26,669	1,351	626	46,395	557	46,952	△7,013	39,939
セグメント利益	972	729	363	224	2,290	12	2,302	△1,421	881

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益の調整額△1,421百万円には、セグメント間の取引消去392百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,814百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」「不動産事業」および「FC・VC事業」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「飲食事業」セグメントで96百万円、「不動産事業」セグメントで1百万円、「FC・VC事業」セグメントにおいて14百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	784百万円	799百万円